2009年7月1日/読売新聞

副市長　公用車で結婚式へ

西宮　公務主張「市代表として出席」

　西宮市の河野昌弘副市長が2007年5月の日曜日に、大阪市北区のホテルであった結婚式に公用車で出掛け、長時間待機させていたことがわかった。30日の市議会で、澁谷祐介市議（にしのみや未来）の一般質問に河野副市長が答えた。「市の産業振興に貢献があった人の挙式で、市の代表として出席した」ことから公務だったとしている。

　市側の説明によると、主賓として招かれ、あいさつを依頼された山田知市長が海外出張中だったため、河野副市長が代理出席。あいさつ後、食事や歓談をしている間、公用車を式場に待たせていた。祝儀は私費で出したという。

　河野副市長は「社会的儀礼の範囲で、今も『公務』と確信を持っている」とした。

　西宮市車両課　組織見直しへ

　西宮市は、公用車の運転に従事する「車両課」について、在り方を見直すことを決めた。同課職員は「運転手」としての実働時間が短い反面、週末に働くなど出勤形態が不規則なことから、運転専門部署の要不要も含め、検討するという。

　車両課職員は、給与に休日出勤などの手当も加算されるため、平均約53万円と高くなっている。公用車の運転を担当する部署を「課」としている自治体は周辺にないこともあり、市は賃金や業務、組織の在り方などの見直しを決めた。今後、労使協議も踏まえて検討を進める。

　同課を巡っては、職員が3月、公用車の待機時間に商業施設で万引きをして逃げる際に店員にけがをさせたとして逮捕され、懲戒免職となっている。

2009年7月1日/神戸新聞

西宮市・河野副市長　公用車で結婚式へ

「公職として招待」

　西宮市の河野昌弘副市長が2007年5月、大阪市内のホテルで開かれた結婚式に公用車で出席していたことが分かった。30日の市会本会議の質問に掛田紀夫総務局長が答えた。

　市などによると、市の産業振興イベントなどにかかわった男性の結婚式。山田知市長が主賓として招待されたが、海外出張のため河野副市長が代理出席し、ポケットマネーで祝儀を渡したという。結婚式は数時間だったが、公用車の利用時間は午前11時45分から午後5時半までだった。

　市は「副市長の公務は公用車の使用が原則」とし、河野副市長も「私的な関係はなく、公職として招待された。社会通念上認められる範囲内では」とする一方、「今後は公用車の使用についても検討したい」としている。

（広畑千春）

2009年7月1日/神戸新聞

運転手に「厚遇」批判

公用車乗務11日で月収50万

　西宮で公用車を運転する職員が、1カ月の勤務日の半分程度しか乗務していなくても、約50万円の給与を支給されていることが30日、分かった。市は「待機時間は洗車など保守整備を行っている」と説明するが、行財政改革の一環で運転業務を外部委託する自治体は少なくない。市総務局は「業務の見直しを進め、車両課の在り方も検討する」としている。

（広畑千春）

　市会本会議で澁谷祐介議員が取り上げた。

　市によると、車両課には36人の運転手がおり、うち幹部らが利用する公用車を運転するのは7人。勤務は午前8時45分～午後5時半だが、1日2～3時間の乗務で走行距離が20キロ前後だったり、20日間の勤務日中、11日間しか乗務していなかったりするケースがあった。

　同市の運転手の給与月額（平均年齢＝47.8歳）は約53万6千円。賃金センサスに基づく民間の同業種の約28万1千円(非常勤を含む)を大きく上回っている。

　尼崎市は2002年度から公用車運転手の業務委託を段階的に進め、昨年度に全面移行。同市は「人件費を含め年約4千万円のコストダウンになった」と話す。一方、神戸市は行財政局に自動車係があり、25人の運転手が毎日乗務しているが、11年度までに1９人に減らす計画という。

　澁谷市議は西宮市の実態を「厚遇」と批判し、「給与制度など抜本的な見直しを」と求めた。